

【計画名：「MMoP | 御代田写真美術館」を中核とした環浅間エリアの文化・観光推進拠点計画】

①計画目標の達成状況

目標項目名(単位)	R2			R3			R4		R5		R6	
	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	目標	実績	目標	実績	目標	実績
来訪者数(千人)	0	—	—	25	30	120%	40		55		80	
来訪者数/訪日外国人(人)	0	—	—	500	100	20%	3,000		8,000		20,000	
来訪者の満足度(5点満点)	—	—	—	3.6	—	—	3.9		4		4.2	
来訪者消費額の増加、地域への経済波及効果(万円)	—	—	—	2,000	—	—	5,500		7,000		11,000	

②計画目標の達成状況に関する分析・評価

<p>(分析)</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、御代田町と共催の「浅間国際フォトフェスティバル PHOTO MIYOTA」はR2、R3年度は中止となり見込んでいた来訪者の獲得には至らなかった。 MMoP施設内に店舗が複数オープンしたことで、来訪者数の獲得につなげることができた。 R4年7月には御代田写真美術館(第一期)が開館し、同時に「浅間国際フォトフェスティバル2022 PHOTO MIYOTA」を3年ぶりに開催するため、来訪者数も飛躍的な増加を見込んでいる。また、R1年に実施したフォトフェスの経済波及効果が2.6億円あったため、経済波及効果も大幅に増加することが期待される。 <p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> 来訪者数については目標を達成することができた。ただし、新型コロナウイルス感染症の影響により訪日外国人の来訪者数については目標達成できていない。

③計画で取り組んだ事業の進捗状況

事業番号	事業名	R2	R3	事業類型毎の実績額
事業1-①	文化資産の魅力増進事業	学芸員プログラム策定	写真のワークショップを実施	2.6百万円
事業1-②	イベント等関連企画によるアート写真資産の魅力増進事業	新型コロナ感染拡大により浅間国際フォトフェスティバル開催中止	新型コロナ感染拡大により浅間国際フォトフェスティバル開催中止	0
事業1-③	文化観光拠点としての地域の魅力増進事業	観光専門家のオペレーション検証	観光コンテンツ企画開発 モニターツアー実施	5.2百万円
事業3-①	来訪者利便性向上事業	多機能トイレ整備、Wi-Fi環境の整備	エントランス動線の整備、Wi-Fi環境の整備	14百万円
事業3-③	ブランドWEBサイト開設事業	未実施	MMoP、浅間国際フォトフェスティバルの制作	21百万円
事業5-①	バーチャルミュージアムの開設事業	バーチャルミュージアムβ版制作	バーチャルミュージアム、バーチャルアートフォトフェス「PHOTO ALT」の制作	32百万円
事業6-①	MMoPの設備整備事業	未実施	鑑賞休憩用木造建築物建設、コンテナ棟の移設	60百万円
事業6-②	しなの鉄道との連携による駅展示整備事業	未実施	御代田駅、軽井沢駅にアートフォト展示を実施	0.7百万円
各年度ごとの実績額→		23.5百万円	112百万円	135.5百万円

④事業の進捗状況に関する分析・評価

<p>【記載欄】</p> <p>(分析)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業1-③のモニターツアーは参加者にMMoPだけでなく御代田町の近隣エリア(軽井沢町、小諸市)の観光コンテンツも体験してもらい、複合的に環浅間エリアの魅力を理解してもらった結果となった。 事業3-③の「MMoP WEBサイト」は施設情報に加え、周辺エリアの魅力を伝えるコンテンツ『AroundMMoP』も制作し、公開を完了した。「浅間国際フォトフェスティバルWEBサイト」もリニューアルが完了し、文化観光地域としての魅力を発信する基盤を整え、観光満足度の向上につながっている。 事業5-①のバーチャルミュージアム開設は建築家/谷尻誠氏が設計した非現実的なCG空間アートフォトを実装し、「PHOTO ALT」としてバーチャル上の新しいアートフォト鑑賞体験が楽しめるコンテンツを開発した。withコロナの対策だけでなく、国内外への効果的なPRツールとしても活用する。 事業6-①の鑑賞休憩用木造建築物はR3年度の世界的な木材価格の高騰により一部工事内容の変更もあったが、予定通り竣工した。(変更内容は別途文化庁担当官に変更申請済)今後、MMoP全体の賑わいを作り出すスペースとして活用する。 <p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響がある中、フォトフェスの開催中止に関連するもの以外は概ね計画通りに実施できている。
--

⑤拠点施設の要件に関する取組状況

	↓文化観光拠点施設名
要件	MMoP 御代田写真美術館
・文化資源の魅力に関する情報を適切に活用した解説・紹介	・MMoP WEBサイトにて施設情報の紹介に加えて、周辺地域情報を発信するコンテンツを展開している。 ・「浅間国際フォトフェスティバル PHOTO MIYOTA」はR2、3年度はコロナウイルス感染症の影響で中止したが、R4年度は7月16日～9月4日の期間で開催が決定しており、作家トークショー、ワークショップの開催や、作品解説パネルの制作を予定している。展示する作品の解説、展示ガイドMAPは日英2言語対応し、多様な来訪者が作品鑑賞を楽しめるフォトフェスティバルにする。
・情報通信技術の活用を考慮した適切な方法を用いた解説・紹介	・バーチャル空間でアートフォト展示を行う「PHOTO ALT」を制作し、フォトフェスと連動したインタラクティブな新しいアートフォト鑑賞体験を提供する。
・外国人観光旅客の来訪の状況に応じて、適切に外国語を用いた解説・紹介	・R4年度に実施する「浅間国際フォトフェスティバル2022 PHOTO MIYOTA」では屋内外に展示する作品の解説パネル及び展示ガイドMAP・作品解説パンフレットを日英2言語に翻訳対応したものにする。
・文化観光の推進に関する多様な関係者との連携体制の構築	・しなの鉄道と連携し、軽井沢駅/御代田駅構内でアートフォトの展示の実施を行った。 ・長野県庁、UDC（信州デザインセンター）とMMoPを中心とした包括連携協定に向けた協議を進めている。 ・地域住民と連携し、MMoP内でのイベントを複数回実施した。今後も継続して実施していく計画である。
・文化観光の推進に関する各種データの収集・整理・分析	・長野県観光機構が収集する県内観光データの共有。 ・地域ブランディング研究所によるモニターツアー参加者へのアンケート調査、レポートによる分析の実施。 ・御代田町役場の観光・企画セクションと連携したPR活動、観光データの共有。
・文化観光の推進に関する事業の方針の策定及びKPIの設定・PDCAサイクルの確立	・アマナ主導にて毎月共同申請者6者が参加するリモート会議を実施し、本事業全体の進捗共有やPDCAの確認を行っている。

⑥観光関係者（DMOなど）からの評価

<一般社団法人 長野県観光機構 エリアプロデュース部>
 ・この「MMoP（モップ）プロジェクト」は国、地方自治体、民間企業（地元事業者、学校法人含む）が三位一体となって進めている事業であり、プロジェクトに関わるステークホルダーが相互に連携することで地域への経済波及効果が大いに期待できると期待している。

⑦今後の改善の方向性

・7月の「御代田写真美術館（第一期）」の開館、「浅間国際フォトフェスティバル PHOTO MIYOTA」の開催とR4年度は2つのイベントを予定しており、これらの実施により来訪者の増加が見込まれる。
 ・新たなトイレ及び授乳室の設置、動線の整備を行い、ダイバーシティを考慮した施設のバリアフリー環境の整備を推進していく。
 ・来訪者数や来訪者属性（性別/年齢）をより詳細に把握するため、AIを用いた来訪者カウントシステムをNECとの協業し、MMoPに導入する。それにより得たデータを用いて、より正確なターゲット層を把握し、各事業に反映させていく。